

緑の創造をつづける砂防



「砂防設備ヲ要スル土地又ハ此ノ法律ニ依リ治水上砂防ノ為一定ノ行為ヲ禁止若ハ制限スヘキ土地ハ主務大臣之ヲ指定ス」

砂防法制定百年



発行
建設省
富士砂防工事事務所
富士宮市三園平1100
電話(0544)27-5221

これは明治三十年に制定された砂防法の第二条の抜き書きです。カタカナで書かれ文語体でもあることからいかめしく、古くさい法律に見えます。今年はこの砂防法が制定されてからちょうど百年にあたる記念すべき年となっています。山地から流れ出る土砂によって引き起こされる災害を防ぐための工事は、古くから行われていましたが、砂防法によって国あるいは都道府県の事業として実

施されることになりました。法律の整備とともに、都の造営や燃料として伐採されたはげ山への樹木の植栽、流れ出る土石流をくい止めるための溪流における砂防ダムや沈砂地工の整備、流路工による河川の整備などが計画的に進められ、いまだ不十分ながらも安全な砂防空間が広がっています。災害の原因となる土砂



は、大沢崩れのようにすでに崩壊している場所で発生するほか、大雨の場合には山のいたるところで新しい崩れが起こるため、防災を考えるとときには山全体を対象としなければなりません。山地を保全するためには、流域など広がりをもつ行政の考え方が必要となります。

第二から分かるように砂防法は面としての広がりを対象とした法律となっています。広がりを持つ砂防工事の代表的なものはげ山を緑にする山腹工事ですが、阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた神戸市の背後にそびえる六甲山地では、今から約九十年前に花崗岩の山にアカマツなどを植える工事が始まり、現在では立派なアカマツの林となりました。地震にも耐え、大きな山崩れは少なかったようです。アカマツ林は今後ナラやカシの林へ変化していくものと考えられます。

富士山では、大沢崩れのふもとの大沢扇状地に約二百五十haにも及ぶ土石流の堆積場所を用意し、扇状地の内外にも

ともと生育していたアカマツ、ミズナラなどを利用し樹木の力を借りて土石流をくい止める砂防樹林帯の整備をしています。また、富士山五合目の大沢崩れ崩壊地では、山を安定させるためにフジヤザミに代表される富士山の植物を用いた植生の復元の試みなどを進めています。このように砂防は、

おそらく最も大規模で最も長い時間をかけた森林型ビオトープ（生物群の生息空間）づくりを進めているとも言えるでしょう。早く緑を回復させ、土砂の流れを止める効果を高めるためアカマツやヤシヤブシなど陽樹と呼ばれる樹木を植えることにもありますが、いずれはその土地に生育しやすい植物に変わって行くはずです。

法律ができて百年が経ちましたが、植生が自然環境に合わせて変化するように、私たちの仕事も地域の皆様の考え方や富士山そのものの変化を的確につかみ、より安全な街づくりのために、十分な役割を果たせるよう努力していかなければならないと考えています。

中部のキャッチフレーズ

21世紀、22世紀に向けた中部のランドデザインを描くために昨年度発足した「中部のあす研究懇談会」においてキャッチフレーズを一般公募した結果、将来の中部を創造するにふさわしい下記のキャッチフレーズが決まりました。

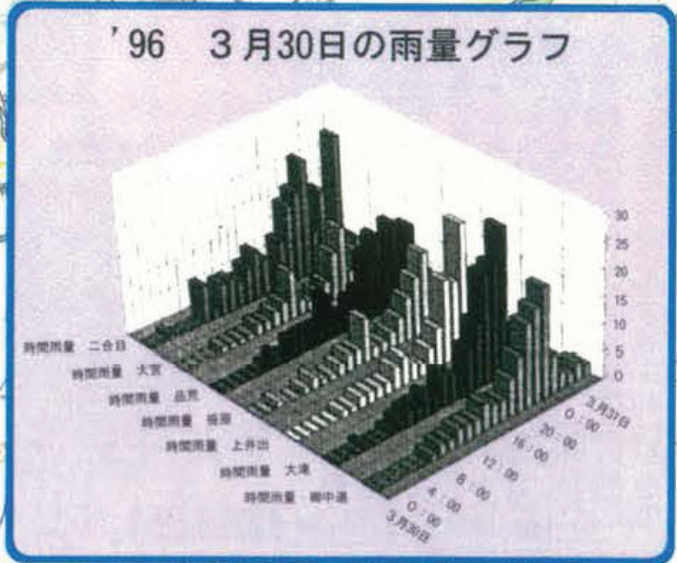
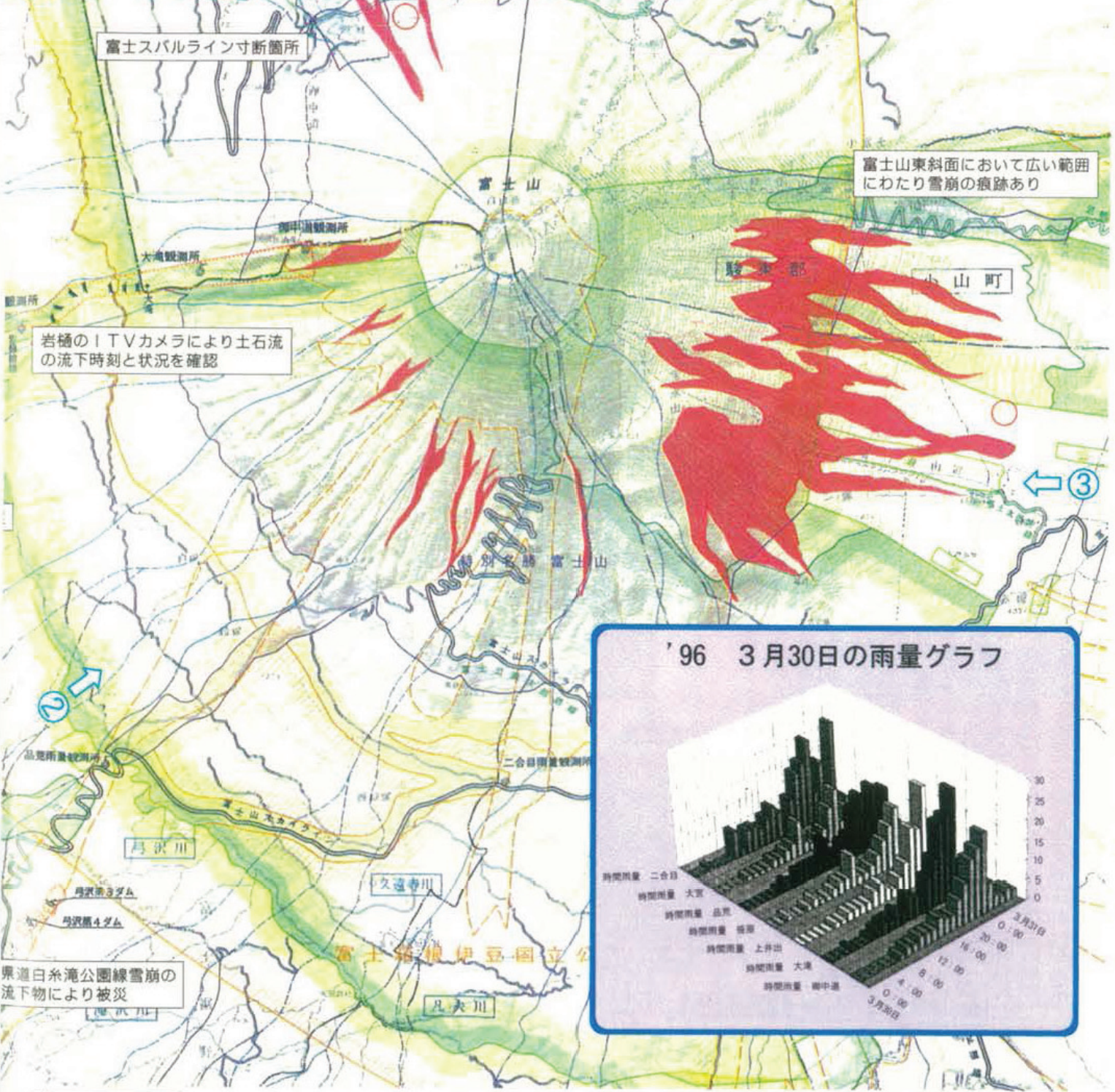
日本の屋台骨せおいます

日本の中心に位置し、中央山岳地帯を抱える中部が日本を、世界をリードしていく意気込み、気概を表現した積極的で力強い標語です。

～ほっぴ すてっぴ 中部～

中部の未来をリズミカルに、流れるように表現しており、関西、関東の次は中部の時代という意味も読みとれる標語です。インターネット<http://www.adhoc.co.jp/chiken.html>

風沈砂地で土砂14,000㎡ストッブ!



3月30日富士山全域で雪崩発生



1996年3月30日20時から21時頃富士山で雪崩が発生し、富士砂防工事事務所では発生直後に調査を行った。

発生当日の気象状況は、低気圧が日本海を発達しながら北東進し、発生当日の未明から雨が降り出している。当事務所の上井出観測所の記録では午前3時から雨が降り始め、時間最大雨量は24mm、連続雨量は102mmであった。

発生地点は標高2,500mから2,800mであり、雪崩発生範囲は、富士山全域に及んでいる。おもだった被害としては、富士スバルライン4合目から5合目の間で雪崩による土砂堆積で道路が3カ所寸断されたが31日には片側ではあるが通行できるようになり、また人的な被害はなかった。

当事務所の施工した砂防施設においても相当量の土砂を捕捉しており、一例を挙げると風祭川の標高500m付近にある風祭沈砂地において約14,000㎡という土砂を捕捉している。この量は、ダンプトラックでおよそ2300台分になる。大沢川扇状地や足取沈砂地等でも土砂を捕捉しており、これらの施設が効果を発揮し被害を最小限に食い止めたといえる。



▲大沢川扇状地において土石流を捕捉



①

西側斜面



②

南西斜面



③

南東斜面



風祭沈砂地



「あなたが描くあすの中部」作文の部に

齊藤志織さん（富士市須津中学校）が優秀賞

平成7年度に実施された中部のあす研究懇談会、（社）中部建設協会主催、建設省中部地方建設局等後援による「あなたが描くあすの中部」作文の部に富士市立須津中学校1年（当時）齊藤志織さんの「私の描くあすの中部」が一般の応募も含め156点の中より中学生ではただ1人優秀賞に輝かれました。以下作品を紹介します。

私の描くあすの中部

静岡県富士市 齊藤志織さん



私が考える中部は、誰もが安心して生き生きと暮らせる所です。

安心の第一は、安全に生活できること。地震や台風、津波や洪水、大雪にも大雨にもびくともしない所であるということです。川岸や海岸には堤防、土砂流出にも負けない砂防ダム、安全対策のほどこされた建物。街並もきちんと整備され、自然の変化をキャッチし、逆にその地震や風や水のエネルギーをコンピュータで自動調節し、日常生活に利用するシステムができています。車は、全部地下を走るの、お年寄りも子供も、事故の心配がありません。

安心の第二は、やさしい街づくりができています。お年寄りや障害者や妊婦さんのために、ゆっくり動く幅広い歩道が整備されており、段差のない入口をもった建物の中で、ゆったりとお買物ができます。若者や働きざかりの人達には、健康づくりウォーキングロードがあるので、そこで体力づくりができます。このような道の所々には、道の駅があり、フリーマーケットが開かれ、いろいろな国から来た人々の大道芸も楽しめます。公園もいたる所にたくさんあり、世代を越えた交流ができるようになっています。

安心の第三は、緊急時の対応がすばやくなされるネットワークができています。高齢化社会を迎え、肉親が仕事で同居できないことも多くなっていますが、大丈夫、突然の病気にも、ボタン一つで、まず近所の方がかけつけて対応できるようになっています。その上、肉親は、緊急連絡が入ったら、リニアモーターカーの特別便で、すぐかけつけられるようになっています。他地域との連携もすぐになされるので、医療活動にも役立ち、治療もすばやくなされます。

安心の第四は、自然環境を生かした心のケアがゆきとどいていることです。山のある所は、その山の緑やそこに住む動物と共存しつつ、心をリフレッシュできる自然公園があり、海に面した所は、ドームの海洋自然公園があって、海辺はもちろん、海の中の散歩も、楽しめるようになっています。川では、いかだ下り等が楽しめ、川すじの小道のせせらぎで、幼い子供がお年寄りのお話を聞きながら、水と親しめるようになっているのです。

あすの中部は、笑顔の広がる所です。

平成8年度

事業概要

富士山の砂防事業は、昭和42年の「富士山大沢崩れ懇談会」により「下流の防災的見地から対策工事を実施」の結論が出されたのを契機として翌43年調査に入り、昭和44年大沢川扇状地の安定化と、潤井川・芝川等下流域の土砂災害防止に重点を置いて直轄砂防工事として着手した。

一方、大沢崩れ源頭部・峡谷部の崩壊拡大を防止し、土砂災害の根元を絶つための本格工事着手に向けての各種調査工事を昭和57年度より実施している。さらに昭和58年より富士宮市、富士市の富士山南西山麓野溪対策として砂防事業に着手し工事を実施しているところである。

・事業費

（百万円）

区 分	平成7年度	平成8年度	対前年比
直轄砂防事業費	3,071	3,145	1.02
砂防事業調査費	11	11	1.00

・主な工事内容

1. 大沢川砂防対策事業（源頭部、扇状地）の推進を図る。
 - 1) 大沢川源頭部（峡谷部）対策については、引き続き各種調査を実施するとともに関係機関との調整を図り協議を行う。
 - 2) 大沢川扇状地対策として、大沢川沈砂地工、除石工、樹林帯整備工などの促進を図る。
2. 南西野溪対策を継続実施し、整備の促進を図る。
 - 1) 猪の窪沈砂地工、弓沢沈砂地工の工事を継続促進し、足取沈砂地工を完成させる。
 - 2) 足取流路工、滝沢第2ダム、中沢第2ダム、須津第1ダム及び弓沢ダム工群の工事を継続促進し、大久保沢床固工群工事に新規着手。
3. 資材運搬手段検討として、弓沢ダム工群で新技術による試験施行を継続実施する。

郵便はがき

料金受取人払

富士宮局
承認

24

差出有効期間
平成8年10月
31日まで切手をはらずに
お出し下さい

4 1 8 □ □

静岡県富士宮市

三園平1100

建設省 中部地方建設局
富士砂防工事事務所

建設専門官 行

ホットライン

地域の安全のため情報を提供します！

読者の皆様へ
アンケートの御協力を
お願いします。



グンナイフウロ (フクロソウ科)

富士山御中道付近では、7月上旬から8月中旬頃に咲く

日頃は富士砂防工事事務所の事業にご理解・ご協力を頂き心より感謝申し上げます。

当事務所では事業やイベント等の内容をお知らせし「砂防」を身近に感じて頂くため広報誌として「富士砂防だより」を発刊してまいりました。

今後、親しみやすく高品質な社会資本整備に当たっては、私たちの仕事を一層理解して頂くと共に、地域の皆様や幅広い方々のご意見を把握することが必要となってきています。

このためには「富士砂防だより」もその役割を益々大きくしていかなければならないと考えており、今回皆様方にアンケート調査及び御意見、御提言をお願いし、内容の充実、より地域の要望を取り入れた紙面づくりを図っていききたいと思います。

※誠に恐縮ですが下記アンケート用紙に記入のうえ、切りとって投函して下さい。
該当する項の記号名のみを囲んで下さい。

広報誌読者アンケート

(1)「富士砂防だより」について

- A 富士砂防だよりを、今までにご覧になった事がありますか？
1. 初めてみた 2. 見たことがある
- B 富士砂防だよりについてどう思われますか？
1. 大変関心がある 2. 関心がある 3. あまり関心がない
4. 全く関心がない
- C 役に立ちましたか？
1. 役に立った 2. 少し役に立った 3. あまり役に立たない
- D 知りたい情報が載っていますか？
1. いる 2. いない
- E どのような情報が必要ですか？ご記入下さい
- F 紙面づくりに対するアイデアをお聞かせ下さい

(2)その他、お気づきの点がありましたらご記入下さい

※差しつかえなければ御記入下さい。

住 所	〒			
氏 名	年齢	性別		
職 業 (学校名)				

ご協力ありがとうございました



花いっぱい潤井川

フーチャン公園に園児による春の花植栽

5月17日、五月晴れのもと潤井川河畔「フーチャン公園」(富士宮市上井出地先)に近隣の上井出保育園園児約50人が参加、ケイトウ、金魚草、ミモラス、ペチュニアの花の苗800本を植え込みました。

園児は公園内に4つの花壇に分かれ、小さな手を泥だらけにしながら1本1本ていねいに植えていました。

花植えをとおして、土と、自然に親しみ、花が育ち、咲く喜びを感じ、砂防施設の役割や環境の大切さを学んでいただき、又、植える楽しさを味わった1日だったと思います。

同公園は平成7年に完成した流路工の環境整備事業の一つで周辺には「スポーツ公園」「歴史広場」「おさんぽ小道」があり、散歩や通園、通学路ともなっています。

花は今からが見頃ですので、散歩や運動の途中に是非お寄り下さい。



植えるの上手でしょう・・・



脇目をふらず、みんな一生懸命に

豪雨 地震 その度怖い 土砂崩れ

みんなで防ごう土砂災害

土砂災害防止月間
6/1→30

がけ崩れ防災週間6/1▶7

恐ろしい土砂災害を防止するために、現在さまざまな対策が行われていますが、それだけでは十分に災害を防ぐことはできません。被害を最小限に抑えるためには、一人ひとりが気象情報等に注意して早めに避難することが大切です。

いざという時の心構え



雨に注意していますか？

土砂災害の多くは雨が原因で起こります。長雨や大雨で危険と思ったら、早めに避難しましょう。1時間に20ミリ以上、または降り始めてから100ミリ以上の降雨量になったら十分な注意が必要です。



逃げ方を知っていますか？

土石流は速度が早いため、流れを背にして逃げたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。



避難場所は決まっていますか？

普段から家族全員で避難場所や避難する道順を決めておきましょう。災害が起きる時、家族全員がいっしょにいるとは限りません。そんな時あらかじめ避難場所を決めておけば安心です。

大沢崩れと御中道見学会

富士山の大沢崩れは、今から約千年前から崩れが始まったといわれています。今回、富士砂防では、緑豊かな御中道を歩き、大沢崩れの荒廃状況を直接見て自然のやさしさと厳しさ、そして砂防事業に理解を深めていただけるよう見学会を企画いたしました。

見学コース 富士宮浅間大社 ← 御中道 ← 大沢崩れ

見学日 平成8年7月23日(火)
平成8年8月26日(月)
平成8年9月11日(水)
平成8年10月15日(火)

対象者及び定員 原則として県内居住者、定員は1日26名

参加費 1,000円(交通費、保険料等)

申し込み方法 往復ハガキに「大沢崩れと御中道見学会」と明記のうえ住所、氏名、年齢、性別、電話番号、希望日を記入して、富士砂防工事事務所まで送って下さい。

申し込み〆切 〆切は各見学日2週間前です。

土砂災害防止月間行事予定

◆「ミス富士山」による1日事務所長等

開催日 平成8年6月19日(水)
場所 ヤオハン富士宮プラザ前
富士砂防工事事務所
内容 「ミス富士山」による「1日事務所長」
「新技術開発現地試験視察」街頭キャンペーン等を実施

◆パネル展

展示日 土砂災害防止月間中
場所 富士宮市役所ロビー
新富士駅構内
富士山ふるさと展示室(富士宮)
内容 富士山、砂防等のパネル展示
ビデオ上映他

クルマユリ(ユリ科)

富士山御中道付近では、7月上旬から8月中旬頃咲く。



富士山への手紙・絵コンクール

富士山に学んだこと…、富士山と共に生きること…富士山と地域を
守ること…そして美しい富士山をいつまでも残していくために…
みなさんのそれぞれの富士山への思いを手紙に、又絵に描いて送っ
て下さい。

応募要項

富士山への手紙の部

(1)応募資格 小学生以上の方なら、どなたでも応募できます。
(2)作品規格 一人1点(未発表のもの)
・600字以内
・別紙600字詰原稿用紙又は市販400字詰原稿用紙

富士山の絵の部

(1)応募資格 幼稚園児以上高校生まで、どなたでも応募できます。
(2)作品規格 一人1点未発表のオリジナル作品に限ります。画材や表現方法に制限はありませんが、クレヨンなど他の作品を汚すおそれのある画材はご配慮ください。用紙は四つ切を使用して下さい。

応募方法

・作品の裏面に応募票を貼付し、幼児、小、中、高校生の部：学校名、学年、氏名等を明記して下さい。成人の部：住所、氏名、年齢等を明記して下さい。
・応募票がない場合は、別用紙に上記を明記して下さい。

賞

賞 特にすぐれた作品を入賞作品として表彰します。
審査委員長 池田満寿夫(版画家、作家、映画監督)

応募期間

平成8年6月1日(土)～9月10日(火)
(当日消印有効)

応募先

〒418 静岡県富士宮市弓沢町150番地
富士宮市教育委員会 学校教育課
富士山への手紙・絵コンクール事務局

主催

富士宮市
富士宮市教育委員会
財団法人富士宮青年会
建設省富士砂防工事事務所

大沢崩れ地クイズウォーク

普段は歩けない大沢崩れ地をクイズを解きながら歩くウォーク大会を下記のとおり企画しました。自然の雄大さ、厳しさ、そして、それに立ち向かう砂防の仕事を見ながら、自然への理解を深める1日をお楽しみ下さい。

コース 富士宮浅間大社 ← 富士山大沢崩れ地

開催日 平成8年8月3日(土)

対象者及び定員 小学生～一般 定員150名

参加費 500円(交通費、保険料等)

申し込み方法 往復ハガキに大沢崩れ地クイズウォークと明記のうえ、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入して、富士砂防工事事務所まで送って下さい。

申し込み〆切 平成8年7月15日(当日消印有効)

情報提供のお願い

(問い合わせ先)

●貴重な写真、資料等をお持ちの方、また災害体験を有している方の情報提供をお願い致します。

(連絡先) 富士砂防工事事務所(建設専門官山田又は、調査課長大長まで)

☎0544(27)5221(内線516又は351)

建設省富士砂防工事事務所

〒418 富士宮市三園平1100

TEL0544(27)5221

富士宮砂防出張所

〒418-01 富士宮市上井出826-1 TEL0544(54)0236

インターネット

http://WWW2.Shizuokanet.or.jp/fujisabo/